令和4年度 第二回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

日時:令和4年11月22日(火)

 $15:30\sim17:30$

場所:国営海の中道海浜公園事務所

議事次第

1	月月	
⊥. ∣	罪	$\overline{\Delta}$

_	=>4- □==
•,	議題

- 1) 前回協議会での議題、意見等に関する取組状況
 - ①上半期の海の中道海浜公園の利用者数の報告・・・・・・・資料1
 - ②Park-PFI における開業後の広報活動・・・・・・・・資料 2
 - ③各主体の取り組み状況達成具合の見える化検討状況・・・・・・資料3
- 2) 各主体における今年度の取組状況・・・・・・・・・・資料4

3. 閉会

以上

○配付資料

配席図、規約、参加者名簿、委員名簿、本協議会の進め方

資料1 上半期の海の中道海浜公園の利用者数の報告

資料2 P-PFI における開業後の広報活動

資料3 各主体の取り組み状況達成具合の見える化検討状況(委員限り)

資料4 4つの将来像の取組 フォローアップ様式

参考資料 1 令和 4 年度 第一回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会 議事要旨

参考資料 2 海の中道管理センター資料

参考資料3 マリンワールド海の中道資料

参考資料4 ザ・ルイガンズ資料

参考資料 5 海の中道マリーナ&テニス資料

参考資料 6 青少年海の家資料

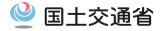
参考資料 7 海の中道パークツーリズム資料

参考資料 8 国営海の中道海浜公園事務所資料

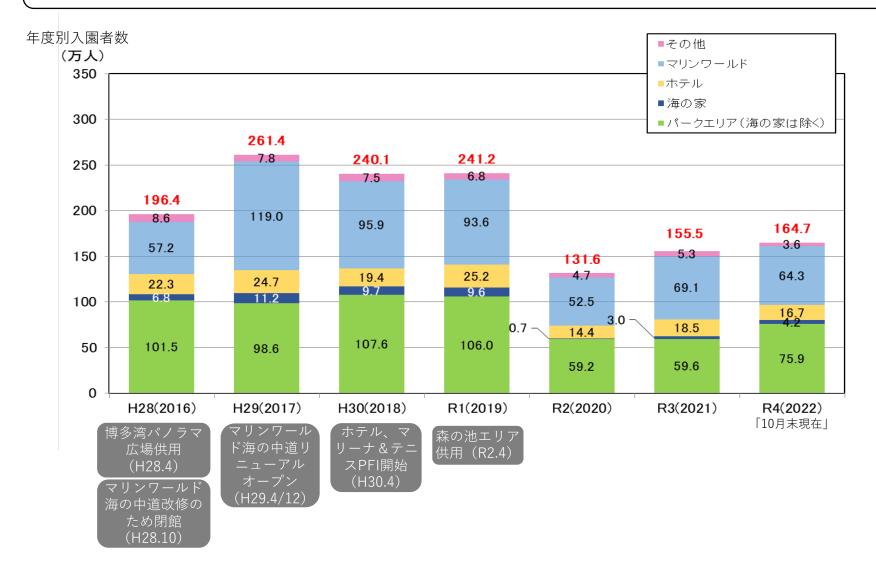
資料1

上半期の海の中道海浜公園の 利用者数の報告

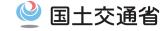
直近7年間の入園者数の推移



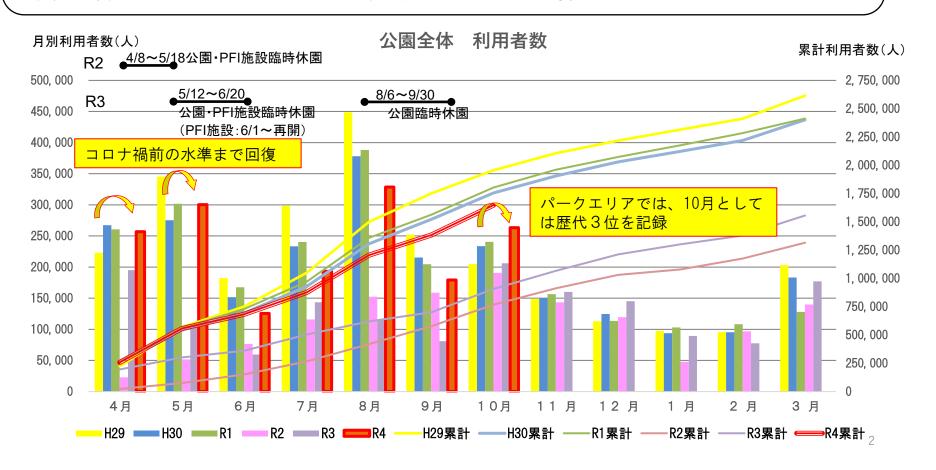
- 〇 平成28年度から令和1年度までは、200~250万人前後で推移していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う閉園等により令和2年度は132万人、令和3年度は約156万人と大幅に減少。
- 令和4年度は、10月末までに約165万人が入園。コロナ前の水準近くまで回復傾向。



平成29年度~令和4年10月末までの月別利用者数



- 〇令和2年度の公園の利用者数は約132万人(前年の約55%)
- 〇令和3年度は、4月は例年に近い入園者数となったが、 5月12日から6月20日まで福岡県が緊急事態宣言の対象となったため臨時休園。 7月は前年度より入園者数が増えたが、休園。
- ◎令和3年度の公園の利用者数は約156万人(R2の約118%、H29-R1平均値の約63% 8月6日から9月30日まで福岡県が緊急事態宣言の対象となったため臨時休園)
- ◎令和4年度4・5月はコロナ禍前の水準を記録するなど、この半年間は利用者数が回復傾向。
- ◎令和4年度10月はパークエリアでは歴代3位の入園者数を記録。



事例1:テレビ東京 風景の足跡

P-PFIにおける開業後の広報活動



https://www.tv-tokyo.co.jp/fukeinoashiato/backnumber/index.html?trgt=20221007

事例2:TVQ九州放送 グっ!ジョブ









2022年8月13日

民間会社&地元の知恵がワクワクを生み出す! 新たな「街の公園」のカタチ

全国の「公園」の姿が変わり始めている。敷地内に民間の商業施設が次々にオープン、ここ福岡でも飲食店やレジャー施設、中には宿泊施設をも備えた公園が登場した。 "ビジネスチャンスの追求"を超えた、民間資本による新たなにぎわいとまちづくりの最新局面に迫る!

事例3:UMAGA 週末グルメドライブ Vol.11

週末グルメドライブVol.11 Presented by Audi福岡東

福岡市のイーストコースト、志賀島・海の中道へ

公開日2022.08.05 最終更新日2022.08.15 ライター毛利智子 カメラマン毛利智子



今回ご紹介の志賀島・海の中道オススメスポット

- ①志賀島ドッグ
- ②シー・ドラグーン
- ③INN THE PARK 福岡(イン・ザ・パーク)
- ④UMINAKA ADVENTURE (ウミナカ・アドベンチャー)
- ⑤ひらぎさんのおいも

九州初上陸の巨大アスレチックタワー「シー・ドラグーン」へ!



「INN THE PARK 福岡」の本格フレンチを



もっともっと遊びたいなら「UMINAKA ADVENTURE」へ

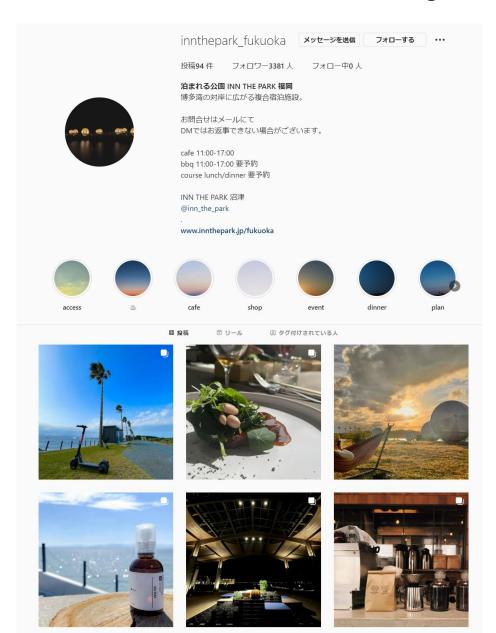


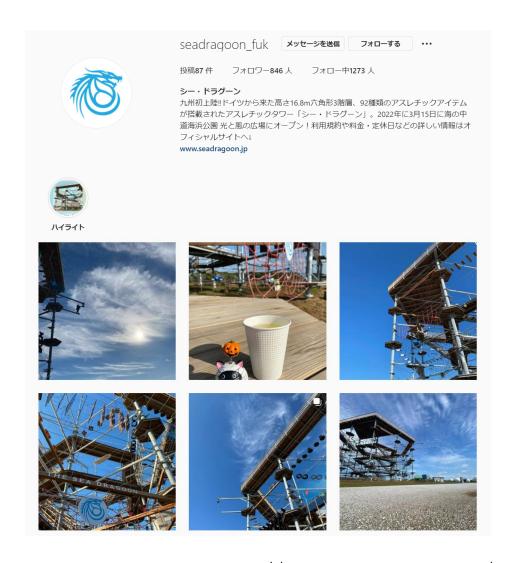


施設より提供

https://umaga.net/shop/24043/

事例4:各種SNSアカウント(Instagram)





https://www.instagram.com/innthepark_fukuoka/https://www.instagram.com/seadragoon_fuk/

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式(主体別) 【海の中道管理センター】※令和4年度取組状況(中間報告)

		の記載内容	の十垣官在にフラー』《刊和十十						計画スク	ナジューノ	レ(年度	・予定)			
				目標	2022年度取組	2021	2022	2023					2028	2029	203
大項目	項目	今後の具体的取組み				(R3)				(R7)			(R10)		
野来像1:「オールうみ	! なかしで人。	」 とまちに活力を生み出し続ける公園	<u> </u>			(113)	1 (111)	1 (1.0)	(110)	1 (107)	(1.0)	(10)	(1120)	(111)	(142
			各機関の間での連携したイベント、広報の実施	●連携メニューの一層の充実	○マリーナ連携「カヤック体験/クルージング体験」		9	1	1			i			
な発信		たイベントや広報など連携した取組をより	(ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッ	CENT = 1 O Maryon	(6月/10月)		1	1	1			i .			
76.7CID	無防塩10	一層推進する。	ター教室 等)		〇マリンワールド連携「水辺の生き物観察会」(7月)		1	1							
		一個推進する。	ラー教室 寺/		OP-PFI連携「福岡市ワーケーション事業」(7月~)		l								
					〇海の家連携「玄海灘松原ミーティング」(11月)										
		●公園、志賀島や西戸崎等の地域関係者が			○季節のおすすめ情報や観光情報等を適宜更新(年2									1	
	の連携強化	オールうみなかで地域の魅力を発信する	海の中道エリア一体となった情報受発信	し、公園全体の魅力を発信	回)		1	1						l l	
		「(仮称)うみなかたび推進会議」を設置													
		し、ポータルサイトなどによりエリアで一					l							1	
		体となった情報発信を行う。	「オールうみなか」でのプロモーション主導	●2020年度(R2年度)~ 会議開催を通じ、公	○福岡市ワーケーション事業への参画(7月~)										
			(うみなかたびプロデュース)	園施設や地域一体となった旅のプランを企画	○「全国都市緑化フェアくまもと」キャンペーン出展		,								
			「うみなかたび推進会議」開催	し、ポータルサイト等で情報発信	(4月)									1	
					〇ふくおかオープントップバス"うみなか&志賀島 ま									1	
					るっと満喫ツアー"(8月・10月)							ĺ		į į	İ
					(873 1073)									1	
毎の中道ならではの多様な			四季折々のイベントの魅力を高める多様な食体		○夏・冬季にレストランにてフードフェア開催										ĺ
vクリエ ー ションの提供	充実	食の提供、地域と連携したマルシェの開催	験の充実	レストランにてフードフェア実施											
		など海の中道ならではの飲食サービスを充		●2020年度(R2年度)~	○春季イベントにて「コーヒーで春の公園を巡ろ										
		実させる。		秋イベントにてアジアメニュー	う!」実施	١.	_								
				●2020年度(R2年度)~											
				冬イベントにてホットメニュー提供	○冬季イベントにてホットメニュー提供										
				●2022年度(R4年度)~											
				春イベントにてコーヒーフェスタ実施											
				●2020年度(R2年度)~ 春秋を主に季節売店	○春・秋李を主に李節売店の営業(花カフェ)										
			サービスの充実(「花カフェ」の運営、インク	1											
			ルーシブカフェの設置)		○芝生広場レストハウス内売店をPlay Caféにリニュー										
				ウス内売店リニューアルにより飲食メニュー充	アル 手作りメニューやスイーツの充実										
				実											
														1	
地域活性化	地域活性化	地元と連携し、収穫体験、釣り体験等のア	「サイクルツーリズム」により公園と地域をつ	●2020年度(R2年度)~ 地域民間事業者や福	○港レストハウスを起点に志賀島・西戸崎・雁ノ巣・										
		クティビティ、志賀島と連携したサイクル	なぐ観光振興を主導	岡市と連携し自転車観光促進等を促進。渡船場	アイランドシティ等周遊を目的とした園外レンタサイ										
		ツーリズムなど、公園を起点とした地域観		より園外レンタサイクルを実施	クルを実施										
		光への誘導を推進する。													
		地域との連携によるイベントの開催などに			〇ツーリング快適性向上のため電動スポーツバイクの										
		より、公園と地域の集客施設等との相互利			貸出をスタート(9月)		i i							l l	
		用を促進する。													
		1/13 C MULE 7 000	「キャンプハカタプロジェクト」による"地域の	●2020年度(R2年度)~ 秋季に地元商工会等	○春季に地元商工会等と連携したサイクルガイドツ							0.00			
			新しい魅力"の発掘	と連携し西戸崎地区を中心としたサイクルガイ	アーを実施 (5月)				ă de la companie de l						
				ドツアーを実施										į į	
															İ
							İ	1	İ			1	لــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ		1

		の記載内容 	」 個別施策	目標	2022年度取組	2021	2022	2023		アジュー川 2025		2028	2029	2030
大項目	項目	今後の具体的取組み	אכטווניושו	LI 15K	2022—1×4/1/11		(R4)					(R10)		
将来像2:海の中道の歴5	史、自然を復	- 後世に継承し、活かす公園												
毎の中道固有の白砂青松の 景観の保全、再生	マツ林育成	●玄界灘側のD地区未供用区域のマツの植栽等を推進する。●樹幹注入等の松くい虫対策や植林箇所の密度管理等、マツ林の育成保全の取組を継続して実施する。	若年マツの保護育成、間伐、松枯れの予防保全	●市民共働による保全作業と計画的なマツクイムシ防除を実施	〇市民共働による保全作業(年5回程度) 〇計画的なマツクイムシ防除を実施(適宜)									
		●公園内外のマツ林育成保全のため、マツ林の保全活動に取り組む自治体、市民団体等との協働、情報共有等を推進する。 ●江戸時代から続くクロマツ林の植林の取組みを紹介するガイドツアーやボランティアによる植栽、海岸清掃などを通じて市民と協働で白砂青松の景観を保全する。	「玄海灘松原ミーティング」の開催	●2022年度(R4年度) 松林の保全活動に取り組む団体等に呼びかけ開催。活動課題や良好事例の情報共有及び今後の活動にフィードバック	○青少年海の家を主会場に、野外フィールド活動も開催(11月)									
教育施設、環境学習フィー ルドとして活用	人材育成	●環境教育の指導者を養成する講習会の開催など、人材育成の取組みを推進する。	「環境教育指導者養成講習会」の開催	●2020~2021年度(R2~3年度) 一般募集及び公園関係機関スタッフ対象に開催 ●2022年度(R4年度) 九州JAZA会員の動物園・水族館スタッフ対象に開催	○九州JAZA会員の動物園・水族館スタッフ対象に開催 (3月)									
	環境学習		物観察体験、プロジェクトワイルドin森の池	●2020年度(R2年度)〜 新規開園した「森の池」を活用したプログラム提供 ●2020年度(R2年度)〜 マリンワールドと連携した保全活動の普及啓発イベント実施	○ 森の池の自然を活用したワークショップを開催(8月) 「日) 「ロップリンワールドと連携し「水辺の生き物観察体験」 を開催(11月)				THE THE PROPERTY OF THE PROPER					
			「森の池市民協働運営協議会」による運営管理 のコーディネート	●2020年度(R2年度)~ 協議会参画団体の協力 を得た「森の池」の利活用プログラムの提供	○協議会参画団体の協力を得た「森の池」の利活用プログラムの提供(8月)									
将来像3:心豊かで健康的	的なライフ	スタイルを支える公園					<u>.</u>		.					
健康増進、ストレス解消に 繋がる場としての機能充実	健康増進	●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康	サンシャインプールでの水泳教室、水中エクサ サイズ等プログラムの実施	したイベントを開催 ● 2021年度(R3年度)~ 夏季に各プログラムを実施 ● 2020年度(R2年度)~ 地域民間事業者や福岡	○玄界灘の海岸線を活用したヨガを開催(7月) □ 地元専門学校と連携し、水泳教室や水中エクササイズを実施 □ 志賀島、雁ノ巣、P-PFI事業のレンタサイクル事業者や福岡市、地域の事業者等と連携した「サイクルツーリズム」の展開 □ 電動スポーツバイクの貸出をスタート(9月)									
	癒やし	心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの	ハーモニーとコントラストによる「花の丘」の	●2020年度(R2年度)~ 春秋を主に季節売店の営業(花カフェ) ●テーブルセット等配置し休憩スペースを創出 ●春: 桜とネモフィラの色彩が織り成す見所づくり ●秋: 秋空と紅葉コキアによる花風景の演出 ●桜の園の魅力向上と老朽化した桜並木の再生を目標に、市民協働で補植を実施	〇秋: コスモス (コキアは虹・彩の花壇)									
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		○春・秋季を主に季節売店の営業(花カフェ) ○大芝生広場レストハウス内売店をPlay Caféにリニューアル デッキスペースを新設し、大芝生や花修景を望みながら寛げるスペースを創出									

大阪日 地田 今後の内容を発動的 情報論案 情報 2007年度末期 2007年		将来像	の記載内容							計画スク						
(25) (24) (25) (26) (27) (26) (27) (27) (27) (27) (27) (27) (27) (27	大項目	項目	今後の具体的取組み	個別施策	目標	2022年度取組										
市談報の担の方式 市談報の120720万元 (報報の対すり) 市話ととに近り174万2079							(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)
ストンクラー・実体化といったプログム ステムス など、作用が定体が、集まするフレラカ できます。 マグの電							1	•		: :						السبا
※ 27.0 元は、	市民参加の場の充実	市民参加						<u> </u>	1							
をびるよる。					が講師となりヨガ教室などを開催	教室(4月・2月)										
学びの発																
をあた。			を充実する。													
● 金田ア・トレビ、人人の場にの機のはある。 ● 金田ア・トレビ、人人の場にの機のに発える。 コニバーサ ロー・サインによる機能や研究 カフ・フレイグラウントの整備 大しての機能を認めまたのが観念の活動としての機能を指摘 カフ・フレイグラウントの整備 としての機能を認めまたのが観念の活動として発生を対した。 ・ 国際がいの制度にかかわらず、人間の多し さき考すできるプログラムや解散の系令 内含。 ・ 国際がいの制度にかかわらず、人間の多し さき考すできるプログラムや解散の系令 内含。 ・ 国際がいの場合にかかわらず、人間の多し で 大学生成し人トバウス内側にあんはで割り・ 育力 インのルーシブ・カフェ I に リニューア ル ・ 国の (1 マンのルーシブ・カフェ I に リニューア) ・ 大学生成し人トバウス内側にかんはで割り・ 育力 インのルーシブ・カフェ I に リニューア ル ・ アン・カフェ I に リニューア ・ アン・カフェ I に リニューア ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に リニューアル ・ アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カフェ I に 利用 アン・カン・ロー・カス I に 利用 アン・カン・ロー・カス I に 利用 アン・カン・ロー・カス I に 利用 アン・カン・ロー・カス I に 利用 アン・カン・ロー・カス I に 利用 アン・カン・ロー・カス I に 利用 アン・カン・I に リー・カス I に 利用 アン・カン・ロー・カス ・ロー・ロー・カス I に リー・カス I に 利用 アン・カン・ロー・カス I に 利用 アン・アン・ロー・ファン・アン・ロー・ファン・ロー・ロー・カス I に 利用 アン・カン・ロー・ファン・ロー・ファン・ロー・ファン・ロー・カス I に 利用 アン・カン・ロー・カス I に リー・カス I に 利用 アン・カス I に 利用 アン・カン・ロー・カス I に 利用 アン・カス I に 利用 アン・カス I に 利用 アン・カン・ロー・カス I に 利用 アン・カス I に 利用	学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強み	様々な施設、豊かな自然環境という強みを活か	●2021、2022年度(R3、4年度)に公園を活用	○公園を活用した企業研修メニュー開発、試行を実施										
■ 全化ワートはど、大人の現在の向いで担 コニノ(ーサルデザインの考 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コニノ(ーサリルデザインの表 コートの表面、表別をの実施の非理権 カートの表面、表別をの実施の表を表した。 ■ 2011年度(19年度) カートリートの表面を表して表生の表して表しており、			を活かし、新しい働き方に対応した企業研	した企業研修の場としての公園利用の推進	した企業研修メニューの開発、試行を実施	(7月)										
フニバーサルデザインの3 コニバーサ			修の場等としての公園利用を促進する。													
ユニバーサルデザインの客 えに基づく幹種・音楽速度 ルデザインの内容は、改体、本公園の設計的改進場所 としての構造を高めるための起放配金化 を推進する。 ・ 種がいの時無にかかわらず、公園の源し さを享完できるプログラムや機能の作業を 配品。 「関がいのある方も安心して美しみの。」 のでは、次生生は海レストバウス内売店あんなで創り。 市台 「インクルーシブ・カフェ」にリニューア ル 「クスリスに近び着を開放 クスリスに近び着を開放 ・ 2022年度(84年度) 巻 リニューアルオー ・ 2022年度(84年度) 巻 リニューアルオー ・ 2022年度(84年度) 巻 リニューアルオー ・ 2022年度(84年度) 巻 リニューアルオー ・ 2020年度(84年度) 巻 リニューアル ・ 2020年度(84年度) 巻 リニューアルオー ・ 2020年度(84年度) 巻 リーニューアルオー ・ 2020年度(84年度) 巻 リースを設定しまり、 ・ 2020年度が見りまり、 ・ 2020年度が見りまり			●食やアートなど、大人の関心の高い学習													
ス・芝は 2 整備・管理運営 ルデザマン の整備、改体、本公園の改革的の選種研 たいでの機能を高めるための開設の制度に 大芝生広場に入い、 ウス フェモ がいたいたい (2月・11月) の関係 の機能 では、 本の (2月・11月) の (2月・11月) の (2月) (2月) (2月) (2月) (2月) (2月) (2月) (2月)			プログラムを充実する。													
スに基づく整備・管理運営 ルデザマ の発情、改体、本公園の資本の送館場所 としての機能を認めるための強硬の削露な を取り入れている機能を認めるための強硬の削露な を担当する。 ●国がいの方は低いかかららず、公園の京本 さき できるプログラムや能説の死来を 図る。 ●国がいの方は低いかかららず、公園の京本 できるプログラムや能説の死来を 図る。 ● 図 1 「インクルージラ・カフェナ に リューア エー タン222年度 (84年度) ※対 冬季に放修工・管 育む 「インクルージラ・カフェナ に リューア エー クン222年度 (84年度) ※ 大芝生広修工・产 できる 「動物ふれ ハーナー を発配し、大芝生でに核悪を認かな から 図 1 大芝生では (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝生な (84年度) ※ 大芝な (84年	ユニバーサルデザインの考	ユニバー+	† ●ユニバーサルデザインによる園路や施設	すべての子どもが一緒に楽しめるインクルーシ	●2022年度(R4年度)以降、カフェリニューアル	○遊び場試行(4~5月)										
としての構能を高めるための施設の制像化を推進する。 ● 3万以の海無にかかわらす、公園の楽し さを学受できるブログラムや施設の充実を 図る。 ――――――――――――――――――――――――――――――――――					` '											
を推進する。 ● 適かいの有無にかかわらず、公園の楽し さる至享をできるプログラムや施設の水美を 図る。 *** 大芝生広園レストハウス内売店みんなで創り・				·												
● 商がいの有無にかかわらず、公園の楽し さを学安できるプログラムや開設の充実を 大芝生広場レスト/・ウス内用にみかなで創り・ では「インクルーシブ・カフェ」にリニューア ル を																
図る。																
図る。			さを享受できるプログラムや施設の充実を	十英化広場してより中である。	● 2021年度(D2年度) 弐計 夕禾に功修工事業	○十苓生亡担してトハウス中毒亡を関ってつばにリ										
ル ● 2022年度(R4年度) 春季 リニューアルオー ファルスースを新設し、大変生や花修器を望みながら買げるスペースを創出 がら買げるスペースを創出 がら買げるスペースを創出 がら買げるスペースを創出 がら買げるスペースを創出 がら買げるスペースを創出			図る。													
プン がら裏げるスペースを創出 Pがいのある方も安心して楽しめる「動物ふれ				同む「イングルーシン・カフェ」にリニューア												
					, ,											
あい出張プログラム」の実施 ス周辺にふれあいコーナーを設置し、動物ス タッフが側面支援 動物の森において、降がい者の心身の活性化に 役立つケアプログラムを提供 ●2020年度(R2年度)~ 青少年海の家の利用団 ○作成した「降がい者ケアプログラム実践集」をもと に海の家利用団体等を対象に実施 (本等を対象に開催 本等を対象に開催 「本で、カース・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・																
あい出張プログラム」の実施 ス周辺にふれあいコーナーを設置し、動物ス タッフが側面支援 動物の森において、障がい者の心身の活性化に 役立つケアプログラムを提供 ● 2020年度(R2年度)~ 青少年海の家の利用団 体等を対象に開催 「作成した「降がい者ケアプログラム実践集」をもと に海の家利用団体等を対象に実施 ● 公園全体の交通ネットワークの再整理を 行った上で、サイクリングコースやバス ルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の 整備など心要な対策を実施する。 ● 広い公園をスムーズに、楽しく移動でき ● 近い公園をスムーズに、楽しく移動でき ● 近い公園をスムーズに、楽しく移動でき ● 2022年度(R4年度)~ 既存園内交通に代わ るサービス導入 ● の新たに港サイクリングセンターからも貸出開始 ● 2022年度(R4年度)~ の新たに港サイクリングセンターからも貸出開始 ● 2022年度(R4年度)~ の新たに港サイクリングセンターからも貸出開始 ● 3サービス導入																
関内移動				障がいのある方も安心して楽しめる「動物ふれ	●2021年度(R3年度)~ 大芝生広場レストハウ	○「動物ふれあい出張プログラム」をPlay Café周辺に										
動物の森において、障がい者の心身の活性化に 役立つケアプログラムを提供				あい出張プログラム」の実施	ス周辺にふれあいコーナーを設置し、動物ス	て実施(春・秋)										
図内移動 ●公園全体の交通ネットワークの再整理を					タッフが側面支援											
■内移動				動物の森において、障がい者の心身の活性化に	●2020年度(R2年度)~ 青少年海の家の利用団	○作成した「障がい者ケアプログラム実践集」をもと										
行った上で、サイクリングコースやバス ルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の 整備など必要な対策を実施する。				役立つケアプログラムを提供	体等を対象に開催	に海の家利用団体等を対象に実施										
行った上で、サイクリングコースやバス ルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の 整備など必要な対策を実施する。 ●広い公園をスムーズに、楽しく移動でき によりでする では、 第1 では、 第2 では、 第2 では、 第2 では、 第2 では、 第3 では、 第4 では、 第4 では、 第4 では、 第5 では、 第4																
行った上で、サイクリングコースやバス ルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の 整備など必要な対策を実施する。																
行った上で、サイクリングコースやバス ルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の 整備など必要な対策を実施する。 ●広い公園をスムーズに、楽しく移動でき によりでする では、 第1 では、 第2 では、 第2 では、 第2 では、 第2 では、 第3 では、 第4 では、 第4 では、 第4 では、 第5 では、 第4																
ルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の 整備など必要な対策を実施する。 ●広い公園をスムーズに、楽しく移動でき		園内移動	●公園全体の交通ネットワークの再整理を	広い公園を"スムーズに楽しく"移動できるサー	●2020~2021年度(R2~3年度) パーソナル	√ ○パーソナルモビリティ「電動キックボード」を活用										
整備など必要な対策を実施する。 ●広い公園をスムーズに、楽しく移動でき			行った上で、サイクリングコースやバス	ビス向上(デマンド交通社会実験、パーソナル	モビリティ活用の実証実験、及び既存園内交通	した、新たな園内移動事業を本格的に運用開始										
●広い公園をスムーズに、楽しく移動でき るサービス導入 月)			ルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の	モビリティ 等)	の課題抽出			=	:							
			整備など必要な対策を実施する。		●2022年度(R4年度)~ 既存園内交通に代わ	〇新たに港サイクリングセンターからも貸出開始(10										
る新たなモビリティの導入などにより、園			●広い公園をスムーズに、楽しく移動でき		るサービス導入	月)										
			る新たなモビリティの導入などにより、園													
内の回遊性を高める。			内の回遊性を高める。													

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式(主体別)【マリンワールドPFI(株)】※令和4年度取組状況(中間報告)

図る。

特別支援学校等への移動水族館

●毎年2校実施

: 全主体による取組 個別施策 2022年度取組 2022年度進捗 今後の具体的取組み (R4) (R5) (R6) (R7) (R8) (R9) (R10) (R11) (R12) 将来像1:「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園 多様な主体との連携、一体的 公園の中の ●園内の各主体がそれぞれの強みを活かし | 各機関の間での連携したイベント、広報の実施 | ●連携メニューの一層の充実 ・九州UMIアカデミー(9月) 8/27実施済 連携強化 たイベントや広報など連携した取組をより (ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッタ-(バックヤードツアー、講話を実施) 10/22、10/23実施予定 - 層推進する。 教室 等) 海の冒険団(10月) 教育施設、環境学習フィール | 環境学習 | ●森の池、動物の森、マリンワールド海の | 環境共生の森での絶滅危惧種の保全、外来種の駆 | ●光と風の広場「環境共生の森」のため池を利用 | ●光と風の広場「環境共生の森」 孵化稚魚のため池放流 ドとして活用 中道など園内の多様な資源を活かすとともは除 し、希少淡水魚ニッポンバラタナゴ域外保全活動 ..ニッポンパラタナゴの増殖 ニッポンバラタナゴ計画どおり繁殖 を行う。また一般市民が参加できる環境学習の場 1-1)ヌマガイ移植池での自然産卵 池での自然産卵確認 に、それらの連携により、多様で、学習効 果の高いプログラムを提供する。 として定着させる。 -2)水族館の孵化仔魚を稚魚育成用の池に放流 池への移植は、次年度に予定 移植個体の自然産卵 保全活動の継続・定期的な観察会 2021年度(R3年度) 孵化稚鱼のため池放流 2022年度(R4年度) 成長観察 2.ヌマガイの増殖 2-1)ヌマガイ移植池での自然繁殖促進 ママガイ繁殖成功 2023年度(R5年度) ため池での自然産卵 (稚貝41個体繁殖) 参加体験型の環境学習場として活用(定期的な観察会の実施) ●希少淡水魚の生活環境多様化のため、また環境 ●水田の整備・維持 水田稲作計画どおり実施 参加体験型の環境学習場として活用(定期的な観察会の実施) 学習の実践場として「水路」「水田」の整備 水路は防水性に問題があり、計画中止 移植個体の自然産卵 ●いこいの森湿地を使用しカスミサンショウウオ●カスミサンショウウオ保全区画の整備継続 保全囲いの増設 (保全区画内での繁殖増殖を維持し、区画外の放流は行わな 域外保全地活動を行う。 繁殖個体を湿地へ放流 2021年度(R3年度) 保全囲い内での自然産卵 計画どおり維持 保全活動の継続・定期的な観察 2022年度(R4年度) 保全囲いの増設 1.いこいの森湿地エリア保全区画の維持整備 (周囲の植栽が伐採され、環境変化) 2023年度(R5年度) 湿地へ放流 計画どおり維持 2.環境共生の森保全区画の維持整備 将来像3:心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園 健康増進、ストレス解消に繋 癒やし ●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安 | 新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフ |・来館者が安全・安心して利用できる施設環境を |・HP・館内表示による来館者への協力要請。 協力要請継続中 がる場としての機能充実 心に利用できる空間を提供する。 トの対応 提供する。 入館者の検温、手指消毒・施設内の換気、消毒。 感染症対策実施継続中 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの 設置や、一人一花運動との連携などによ り、花や緑が豊かな環境の中でリラックス でき、ストレスを解消できる場づくりをよ り一層推進する。 学びの充実 ●様々な施設、豊かな自然環境という強み 目然保護への理解を深める自然への窓口となる施 ●展示水槽・展示生物を通して自然保護への理解 ●展示水槽・展示生物を通して自然保護への理解を深める。 学びの場 小笠原シロワニ調査(母島) を活かし、新しい働き方に対応した企業研 設運営 を深める。 1.3F水の森エリア改装(5/9~7/6工事・7/7オープン) 計画どおり実施済 修の場等としての公園利用を促進する。 2021~2023年(R3~5年) 中流域・里山里地に生息する生物・水生昆虫・両生類・爬虫 衛星発信機調査(母島) ●食やアートなど、大人の関心の高い学習 小笠原シロワニ調査(母島) 類等を展示し、福岡県陸水環境の展示強化 プログラムを充実する。 2023年度(R5年度) 2.小笠原シロワニ個体識別調査継続 調査継続中 マモ移植、アマモ場の創生 衛星発信機調査(母島) 3.海浜公園光と風の広場 アマモ移植・アマモ場創生 計画どおり実施中 海洋動物の繁殖 海浜公園光と風の広場 アマモ移植 4.海洋動物の繁殖(カマイルカ2頭出産予定 5・8月) 【個体名:サンゴ】5/17 死産 アマモ場の創生 【個体名:ヒカリ】8/17 出産 海洋動物の繁殖 →人工哺育→8/21死亡 野外観察会の実施 ●野外観察会の実施(毎年2回実施) ●屋外観察会の実施(一般公募型) 1.磯の観察会(志賀島勝馬海岸) 5/15(日)・5/29(日) 計画どおり実施済 2.管理センターとの協働観察会(4回計画) 管理センターとの協働観察会3回実施済 (台風で1回中止) ●学校団体への学習支援 【学習プログラム】 ワークシート、講話等提供 計画どおり実施 ユニバーサルデザインの考え ユニバーサ ●ユニバーサルデザインによる園路や施設 ソフト面におけるユニバーサルデザイン推進(ス ●スタッフ接遇マニュアル作成、チェック及びト 【接遇】策定した接遇マニュアルに則ったチェック及びト 【接遇】閑散期に実施予定 ルデザイン の整備、改修、本公園の災害時の避難場所 タッフへのコミュニケーション・接遇トレーニン レーニングの継続 に基づく整備・管理運営 ノーニングの継続 としての機能を高めるための施設の耐震化 グ、多言語リーフレット・デジタルサイネージ設 ●多言語生物解説の推進 【多言語生物解説】リンネレンズの継続 【多言語生物解説】 を推進する。 リンネレンズガイド(オリジナル版)での英語以外の多言語 リンネレンズ継続使用 ●障がいの有無にかかわらず、公園の楽し 化(中国語等)を検討 リンネレンズガイド(オリジナル版)で、 さを享受できるプログラムや施設の充実を 韓国語・中国語(簡体・繁体)表示を準備中

【移動水族館教室】

· 11月 北九州市立 小池特別支援学校

福岡県立 田主丸特別支援学校

【移動水族館教室】

11/8 実施予定

11/22 実施予定

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式(主体別)【(株)海の中道リゾート(ホテル)】

	将来像位	の記載内容								ァジューノ					
 大項目	項目	今後の具体的取組み	個別施策	目標	2022年度取組	2021	2022	2023	2024	2025	2026				2030
						(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)
		とまちに活力を生み出し続ける公園	1				-	=	=						
			各機関の間での連携したイベント、広報の実施	●連携メニューの一層の充実	→ドルフィンセレモニー 実施中										
的な発信	連携強化	たイベントや広報など連携した取組をより			2022年4月~9月/1組実施										
		一層推進する。	ター教室 等)												
将来像2:海の中道の歴	史、自然を征	と 後世に継承し、活かす公園							<u> </u>	E			<u> </u>		
地域活性化	地域活性化	地元と連携し、収穫体験、釣り体験等のア	地域の施設や地元業者と連携する。(地元陶	●2021年度(R3年度)春頃から西戸崎の陶芸工	→2021年9月~→プラン化は行っている										
		クティビティ、志賀島と連携したサイクル	芸、野菜収穫&ランチ)	房と連携した陶芸教室を開催	が実施無し。										
		ツーリズムなど、公園を起点とした地域観		●志賀島の契約農園で野菜等を収穫し、その食											
		光への誘導を推進する。		材を使ったランチを提供するプランを開始	→実施中										
		地域との連携によるイベントの開催などに													
		より、公園と地域の集客施設等との相互利													
		用を促進する。													
将来像3:心豊かで健康	 的かライフス	┃ スタイルを支える公園							<u> </u>						
			新たな(健康)レクリエーションの導入(サッ	●2021年度(R3年度)春頃からサップネスを実施	→2021年9月~→緊急事態宣言・福岡蔓										
繋がる場としての機能充実		ガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力	プネス)	、 →リトリートプラン(体に優しいヴィーガン	延防止などの関係にて2022年度での秋頃										
		的な健康プログラムを実施する。		フードをはじめ、ヨガ・スパトリートメント・	計画変更。サップネス講師のスケジュール										
		●テニスコートやサンシャインプールな		サウナのアクティビティを体験)	調整が厳しい為、変更。										
		ど、多くの既存施設の特性を生かした健康			→2022年9月~予約開始/10月2組・11										
		プログラムを充実させる。			月1組実施予定										
		●志賀島- 海の中道サイクルツーリズム協													
		議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関す													
		る施策と連携した取組を推進する。													
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソ		→各機関と連携し、感染症対策の徹底を図										
		心に利用できる空間を提供する。	フトの対応		a				E	·			-		
		●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの													
		設置や、一人一花運動との連携などによ													
		り、花や緑が豊かな環境の中でリラックス													
		でき、ストレスを解消できる場づくりをよ													
		り一層推進する。													

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式(主体別)【(株)海の中道リゾート】※令和4年度取組状況(中間報告)

【マリーナ】													: 全主体	による取組
	将来像	の記載内容							計画スク	「ジュー丿	レ(年度	・予定)		
大項目	項目	今後の具体的取組み	個別施策	目標	2022年度取組	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)		2029 2030 (R11) (R12)
将来像1:「オールうみな	よか」で人。	, とまちに活力を生み出し続ける公園												
多様な主体との連携、一体的な発信		たイベントや広報など連携した取組をより	各機関の間での連携したイベント、広報の実施 (ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッ ター教室 等)	●ホテル利用者やP-PFIに来園された方々にマリンスポーツを提供できるよう連携する ●園内機関との新しい連携を作る	●ルイガンス様、海の中道パーク・ツーリズム共同事業体様への情報共有を行っている。 ●「九州UMIアカデミー」の開催に当たり、各機関からご協力・ご協賛をいただいている。									
海の中道ならではの多様な レクリエーションの提供	海の魅力の発揮	●穏やかな海に面した砂浜が広がるB地区 未供用区域を、海と触れ合うことができる 海浜レクリエーション空間として整備す る。 ●博多湾、玄界灘海浜部での海や砂浜を活 用したアクティビティを導入する(SUP、 カヤック、ホースライディング等)。	_, , , _, , , , , , , , , , , , , , , ,	(ビーチヨガ等)	●マリンポーツメニューの充実を図ったと									
 将来像3:心豊かで健康的	 なライフ	 スタイルを支える公園												
健康増進、ストレス解消に 繋がる場としての機能充実			新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソ フトの対応	●感染予防対策の徹底	●施設内の消毒(特に人の手が触れる箇所)●施設内の換気●消毒の設置●ポスター等での注意喚起									
将来像4:多様な人の多様 学びの場			ブルーシーフード教室、ディンギーヨット教室 の開催	●ブルーシーフード教室、ヨット教室を開催。	●関係者との協議継続									

【テニス】

	将来像	の記載内容								アジューノ					
 大項目	項目	今後の具体的取組み	個別施策	目標	2022年度取組	2021	2022	2023					2028		
						(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R1
		とまちに活力を生み出し続ける公園													
			各機関の間での連携したイベント、広報の実施	●連携メニューの一層の充実	●園内施設の利用者に対する割引を検討し										
公発信	連携強化	たイベントや広報など連携した取組をより	(ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッ		ていく。		8	1	1			1		1	
		一層推進する。	ター教室 等)												
来像3:心豊かで健康的	カナシニ ノコ・	フカノルもまこっ八国													
			恒広い年齢属を対象としたフクールや十个の問	●幅広い年齢層を対象としたスクールや大会を	■ Q日に年齢が喜めの方(5.0代から 7.0										
^R) (注) (注)	▼海浜品で石用したこーデラン、こーデョーがなど、海の中道の自然が満喫できる魅力		継続的に開催	代) を対象としたテニスイベントを2回開	1									
"る場としての機能尤夫		りなど、海の中道の自然が洞峡 Ca る魅力 的な健康プログラムを実施する。	惟、健康グリニック刊で同即有デニス	● 2022年度(R4年度)に健康クリニック付高齢者			<u> </u>	1	8	B B		B	·	=	
		●テニスコートやサンシャインプールな		■2022年度(R4年度)に健康グリニック竹同断台 テニスをイベントとして開催(コロナ感染拡大	惟した。										
		● デースコード でリンジャインノールは ど、多くの既存施設の特性を生かした健康		防止の観点から一年延期している)											
				防止の観点から一年延期している)											
		プログラムを充実させる。													
		●志賀島-海の中道サイクルツーリズム協													
		議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関す													
		る施策と連携した取組を推進する。													
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソ	● 感染予防対策の徹底	●施設内の消毒(特に人の手が触れる筒										
		心に利用できる空間を提供する。	フトの対応		所)										
		●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの			●施設内の換気										
		設置や、一人一花運動との連携などによ			●消毒の設置										
		り、花や緑が豊かな環境の中でリラックス			●ポスター等での注意喚起										
		でき、ストレスを解消できる場づくりをよ			●ログハウスに音響やモニターを設置し、										
		り一層推進する。			憩いの場として利用者に開放している。ま										
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			た空調も増設し、環境を整えた。										
来像4:多様な人の多様	し もか学び、う	5躍を支える公園													
		●ユニバーサルデザインによる園路や施設	障がい者がテニスを楽しめるコート整備	●車いすでも利用できるハードコートまでの動	●飯塚の車椅子テニス大会のボランティア										
に基づく整備・管理運営	ルデザイン	の整備、改修、本公園の災害時の避難場所		 線を障害者でも利用しやすいように整備し、障											
		としての機能を高めるための施設の耐震化		がい者テニス大会を2023年度(R5年度)に誘致											
		を推進する。		できるよう準備を進める(コロナ感染拡大防止											
		●障がいの有無にかかわらず、公園の楽し		の観点から一年延期している)	うことが分かり、すぐに実現することが難										
		さを享受できるプログラムや施設の充実を			しいという判断をしている。										
		図る。			●車いすテニスの大谷桃子プロのコーチに										
					連絡しており、施設の動画等を見てもらう										
		The state of the s	The second secon												

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式(主体別)【青少年海の家】※令和4年度取組状況(中間報告) : 全主体による取組 将来像の記載内容 計画スケジュール(年度・予定) 個別施策 目標 2022年度取組 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 2028 | 2029 | 2030 大項目 今後の具体的取組み (R4) (R5) (R6) (R3) (R7) (R8) (R9) (R10) (R11) (R12) 将来像1:「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園 多様な主体との連携、一体 公園の中の ●園内の各主体がそれぞれの強みを活かし 各機関の間での連携したイベント、広報の実施 ●公園機関との連携促進 ●公園機関との連携促進 的な発信 連携強化 たイベントや広報など連携した取組をより (それいけ海の冒険団、カッター教室等 ParkーPFI・ルイガンズ 雁レクフェスタ出展 11/5~6 -層推進する。 ●SNS(FB・Instagram)を活用した広報促進 玄海松原サミット開催 11/12~13 動画の活用・フォロワー数の増加 ●SNS (FB·Instagram) を活用した広 ●ニュースリリースの積極発信 報促進 動画のアップ・フォロワー数の増加 フォロワー数 FB467 インスタ260 将来像2:海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園 教育施設、環境学習フィー 環境学習 ●森の池、動物の森、マリンワールド海の 自然観察活動(動植物観察、貝殻採取、ビーチ ●新規主催事業の実施 ●新規主催事業の実施 ルドとして活用 中道など園内の多様な資源を活かすととも クリーンアップ、天体観察 等) カヌー・カヤック教室の実施 カヌー・カヤック教室の実施計画 3月 に、それらの連携により、多様で、学習効 ●連携主催事業における環境学習の推進 ●連携主催事業における環境学習の推進 果の高いプログラムを提供する。 地引網体験の実施 マリンワールドとの連携 ●行政・団体と連携した取り組み それいけ!海の冒険団 10/22~23 ラブアースクリーンアップ ●行政・団体と連携した取り組み ラブアースクリーンアップ 6/12実施 将来像3:心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園 健康増進、ストレス解消に 癒やし ●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安│新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソ│●感染症対策の継続 ●感染症対策の継続 繋がる場としての機能充実 心に利用できる空間を提供する。 フトの対応。 利用者・職員の安全を守る 利用者・職員の安全を守る ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの ●海の家魅力向上プロジェクト推進 抗原検査キッド活用による対策 設置や、一人一花運動との連携などによ 職員のアイデアをカタチに ●海の家魅力向上プロジェクト推進 り、花や緑が豊かな環境の中でリラックス SDGsプロジェクトチーム発足 ●あたりまえの実践 でき、ストレスを解消できる場づくりをよ 挨拶・試され・臨機応変・マナー・縁 ●あたりまえの実践 り一層推進する。 キックオフにて職員へ共有 将来像4:多様な人の多様な学び、活躍を支える公園 学びの場 学びの充実 ●様々な施設、豊かな自然環境という強み 野外活動機会の積極提供 ●他の機関との連携による活動促進 ●他の機関との連携による活動促進

活動プログラム、出張自然教室・ブース

グラムを提供

出展・夢授業など地域や団体と連携したプロ

ふくおかFUNから水中写真を寄贈

夢授業 福岡キャリア教育研究会主催

HAKATA KIDS EXPO出展 10/1 環境フェスティバルふくおか出展

7/8 福岡市立青葉中学校

9/2 福岡市立箱崎清松中学校 9/10 福岡市立福岡女子高校

|を活かし、新しい働き方に対応した企業研 | 様々な機会を通して、子どもたちの教育に関わ

修の場等としての公園利用を促進する。

プログラムを充実する。

●食やアートなど、大人の関心の高い学習

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式(主体別)【海の中道パーク・ツーリズム共同事業体】※令和4年度取組状況(中間報告)

	将来像	の記載内容								アジュール					
大項目	項目	今後の具体的取組み	個別施策	目標	2022年度取組	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)		2028 (R10)		
ー 将来像1:「オ <u>ー</u> ルうみな	ー なか」で人っ	 とまちに活力を生み出し続ける公園				(113)		(1.5)	(110)	(107)	(1.0)	(113)	(1110)	(141)	(14.12
る様な主体との連携、一体	公園の中の	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かし	各機関の間での連携したイベント、広報の実施	●管理センターをはじめとした各関係機関と連	5/21, 22に管理センターと両主催による										
りな発信	連携強化	たイベントや広報など連携した取組をより	(ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッ	携したイベントの実施	マルシェイベントの実施(NEW										
		一層推進する。	ター教室 等)		WEEKEND INNTHEPARK)										
					→5/21(土)は1000人、5/22(日)は2000										
					人ほどが光と風の広場の入園ゲートを通っ										
					た。出店テナントの殆どがお昼過ぎに売り										
					切れている状態だった。										
					→7/23~8/28の期間の土日祝日計14日間										
					シー・ドラグーン前にて縁日を実施										
					→7/30,31子供向けのワークショップ開										
					催										
の中道ならではの多様な	多様かニー	- ● 既にファミリー層の利田者が多いC地区	Park-PFI事業の開始、運営(球体テント、立体	● 事業者 関係機関と連携した宿泊パック等の	事業者、関係機関と連携した宿泊パック等										
		はその魅力をより強化、Park-PFI事業が開		充実	の充実(宿泊+アスレチック、宿泊+各ア										
レフラエ フョンの庭民	// \OJ\J\III	始されるB地区は大人向けエリアとして整	アスレブラブ地段の走開/	パズ (宿泊 + アスレチック、宿泊 + 各アクティビ	クティビティ、宿泊+自然観察体験等)										
		備・管理運営を行うなど、利用状況、特徴		ティ、宿泊+自然観察体験等)	→宿泊者限定のプランとして、サーフィン										
		等に応じた各エリアの差別化を一層推進		ノイ、旧川〒日然既宗体殿寺/	やファミリーフィッシングプランを常設し										
		し、多様な層へ多様な楽しみ方を提供す													
		し、多様は眉へ多様は楽しの力を提供す			ている。また、9/17~10/31までの期間インザパーク宿泊者限定でのホースライ										
		●日本と世界を繋ぐ、公園内外を繋ぐ、人			ディングプランを実施										
		と人とを繋ぐ「繋がりのエントランス」と													
		して海の中道駅口をリニューアルする。													
	海の魅力の	●穏やかな海に面した砂浜が広がるB地区	博多湾、玄界灘海浜部でのアクティビティ導入	●海浜部を活用したSUP、カヤックを実施し公	4/6~博多湾を活用したSUP、カヤック、										
	発揮	未供用区域を、海と触れ合うことができる	(SUP、カヤック、ホースライディング等)	園の魅力向上に寄与する。	クルージング等、海のプログラムの受付を										
		海浜レクリエーション空間として整備す			開始										
		వ.			→SUPに関しては親子で楽しめるものや犬										
		●博多湾、玄界灘海浜部での海や砂浜を活			と楽しめるものなど様々なプランを提示し										
		用したアクティビティを導入する(SUP、			#-										
		カヤック、ホースライディング等)。													
	食の魅力の	●地産地消、食育等などのテーマ性のある	地域と連携したマルシェ等のイベントの開催	●定例的に地域イベントを開催することで海中	5/21, 22に管理センターと両主催による										
	充実	食の提供、地域と連携したマルシェの開催		地域の魅力を発信する。	マルシェイベントの実施(NEW										
		など海の中道ならではの飲食サービスを充			WEEKEND INNTHEPARK)										
		実させる。			→9/23, 24に志賀島にある勝山商店さん										
					とのポップアップイベントを開催(干物を										
					はじめとした地元食材の販売・レストラン										
					での限定メニューの提供)										
			収穫体験や食育、地産地消等の要素を加え新た	●周辺地域と連携し、地場産品を利用した飲	5月下旬よりBBQサービスの受付を開始										
			な体験型アクティビティとしてのBBQサービス		→5月下旬よりBBQプランの提供開始をし										
			提供		たが天候によるものの土日祝日を中心に多										
					くの方より好評をいただいた										
				T. Control of the Con											
4 字 像2:海の中道の歴	中、白然を行	 後世に継承し、活かす公園											: 		
		 後世に継承し、活かす公園 ●森の池、動物の森、マリンワールド海の	共生の森・森の池での自然観察	●観察プログラムを通じ、海中地域や海浜公園	→10/10管理センター主催のイベント「森										
対育施設、環境学習フィー		●森の池、動物の森、マリンワールド海の	共生の森・森の池での自然観察		→10/10管理センター主催のイベント「森 の池いきものさんぽ〜秋編〜」を宿泊者の										
対育施設、環境学習フィー		●森の池、動物の森、マリンワールド海の 中道など園内の多様な資源を活かすととも	共生の森・森の池での自然観察	●観察プログラムを通じ、海中地域や海浜公園 特有の自然環境への理解を深める。	の池いきものさんぽ〜秋編〜」を宿泊者の										
		●森の池、動物の森、マリンワールド海の 中道など園内の多様な資源を活かすととも に、それらの連携により、多様で、学習効	共生の森・森の池での自然観察		の池いきものさんぽ〜秋編〜」を宿泊者の 早朝プラグラムとして案内										
対育施設、環境学習フィー		●森の池、動物の森、マリンワールド海の 中道など園内の多様な資源を活かすととも	共生の森・森の池での自然観察		の池いきものさんぽ〜秋編〜」を宿泊者の										

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式(主体別)【海の中道パーク・ツーリズム共同事業体】※令和4年度取組状況(中間報告)

	将来像	の記載内容							計画ス	ケジューノ	レ(年度	・予定)			
	項目	今後の具体的取組み	個別施策	目標	2022年度取組	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
						(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)
将来像3:心豊かで健康的	りなライフ	スタイルを支える公園													
健康増進、ストレス解消に	健康増進	●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨ	パノラマ広場でのヨガ等健康アクティビティの	●通常と異なる環境下での活動によりモチベー	4/1~ヨガ、ピラティス、ボクササイズ										
繋がる場としての機能充実		ガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力	実施	ション維持し、継続的な運動を促す。	の受付開始										
		的な健康プログラムを実施する。			→ヨガ・ピラティス・SUP・カヤッククな										
		●テニスコートやサンシャインプールな			どのプログラムを提供している。										
		ど、多くの既存施設の特性を生かした健康													
		プログラムを充実させる。													
		●志賀島- 海の中道サイクルツーリズム協													
		議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関す													
		る施策と連携した取組を推進する。													
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安	レフトランのカフェ・バーの敷備	●レストランの飲食メニュー充実	季節ごとに変わる食材を使ったレストラン										
	想でし	○総条証対象を徹底し、利用者が安主・安心に利用できる空間を提供する。	レストランなカラエ・ハーの金浦	●レストランの飲食グニュー元夫	字即ここに変わる良材で使うたレストラン の飲食メニュー充実										
		●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの			→季節ごとにトッピングが変わるパフェを										
		●1にを変じながら良事が来しめるカフェの 設置や、一人一花運動との連携などによ			はじめ宿泊者メニューの開発										
		り、花や緑が豊かな環境の中でリラックス			→10/16に「実りの秋を味わおう!」イベ										
		でき、ストレスを解消できる場づくりをよ			ントの実施予定。秋野菜の収穫体験をした										
		り一層推進する。			のちにその収穫した野菜を使用したランチ										
		り、信任にする。			をレストランで提供する										
健康増進、ストレス解消に	癒やし		新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソ		・感染症対策の検討、ランドスケープの検										
繋がる場としての機能充実			フトの対応		討・施工を実施中		1		1			. ₽	1		
		●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの													
		設置や、一人一花運動との連携などによ													
		り、花や緑が豊かな環境の中でリラックス													
		でき、ストレスを解消できる場づくりをよ													
		り一層推進する。													
将来像4:多様な人の多様	まな学び、	活躍を支える公園					<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		
市民参加の場の充実			地元講師を招いたワークショップやイベントの	●地域住民や地元団体の活動や発表の場、機会	志賀島の神社と連携した座禅体験の実施。										
		ストラクター・講師等となったプログラム	企画、地域住民企画のイベント等受け入れ	を創出し、公園利用を促進する。	→実施に向けて神社と打ち合わせ済み。実										
		など、市民が主体的に提供するプログラム			施日は調整中。										
		を充実する。			西戸崎のインスラクターによるヨガ体験の										
					実施										
					→ペアで行うヨガやベビトレヨガをはじめ										
					様々なヨガメニューを展開している										
 学びの場	学びの充実	■様々な施設、豊かな自然環境という強み	遊びながら学べるアクティビティの導入(アク	●新たなアクティビティ「WAKEPARK」の整備	新たなアクティビティ「WAKEPARK」の										
	, 5 37,07		ティブラーニングを意識したプログラム開発	●段階的なプログラムの企画開発、実施	整備に向けての水質調査の実施										
		修の場等としての公園利用を促進する。	他)		→整備に向けて調整をしている。										
		●食やアートなど、大人の関心の高い学習			Eminoral Control Control										
		プログラムを充実する。													

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式(主体別)【国土交通省】※令和4年度取組状況(中間報告)

	将来像位	の記載内容							ナジューノ			
大項目	項目	今後の具体的取組み	個別施策	目標	2022年度取組	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)			2028 (R10)	
多様な主体との連携、一体	公園の中の 連携強化	●本公園の将来像の実現に向けて「国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会」で各主体の連携を強化し、継続的なフォローアップを行う。	関係主体の協議の場として「国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会」を運営	●協議会を年2回開催するとともに、フォロー アップのための園内関係機関の会議を月1回開催	・年2回開催(5/27、11/22)・園内関係機関の会議は概ね月1回開催							
	公園の中の		各機関の間での連携したイベント、広報の実施 (ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッター教室 等)	●連携メニューの一層の充実	公園内の各機関の企画・広報担当者をメン バーとする「利用促進・サービス向上部 会」で具体的な連携の調整等を実施中							
	ズへの対応	はその魅力をより強化、Park-PFI事業が開	多様なニーズの受け皿となるよう園内全体の ゾーニングの再整理(ファミリー層向けエリ ア、大人向けエリア、歩行者空間 等)	●2021年度(R3年度)にゾーニングを再整理 し、そのゾーニングに基づき計画的に整備								
			を繋ぐ「繋がりのエントランス」として海の中 道駅口をリニューアル	●2021年度(R3年度)から検討、設計に着手 し、2023年度(R5年度)までに再整備完了 ●2021年度(R3年度): ちびっこ広場の遊具更 新 ●2022年度(R4年度): ユニバーサルデザイン 遊具の更新	海の中道駅口のリニューアルに向けた整備を推進中 2021年度(R3年度)更新済み R4年度中に動物をイメージしたユニバーサルデザイン遊具を整備し、周辺にも小型							
	発揮	●穏やかな海に面した砂浜が広がるB地区 未供用区域を、海と触れ合うことができる 海浜レクリエーション空間として整備す る。 ●博多湾、玄界灘海浜部での海や砂浜を活 用したアクティビティを導入する(SUP、 カヤック、ホースライディング等)。	B地区未供用区域の整備(親水空間としての活用)	●2021年度(R3年度)〜2025年度(R7年度): B地区の動植物等の環境調査、計画、設計●2026年度(R8年度)以降整備着手、2030年度(R12年度)頃供用	B地区未供用区域の環境調査を実施中(夏							
	充実	●地産地消、食育等などのテーマ性のある 食の提供、地域と連携したマルシェの開催 など海の中道ならではの飲食サービスを充 実させる。		●2024〜2025年度(R6〜R7年度)に園内のレストハウス等を集約再編し、新たな飲食施設を整備	整備に向けた地質調査等実施中							
将来像2:海の中道の歴史 海の中道固有の白砂青松の 景観の保全、再生	マツ林育成	I	D地区の未供用区域の整備	継続的にマツの植栽等を実施	D地区未供用区域のマツ植林に向けた造成 を実施中							
		かんし (大川とする。	園内の松林を保全・育成するための樹幹注入や 薬剤散布等の松くい虫対策、間伐	●園内全域で健全なマツ林を維持・継承	樹幹注入や薬剤散布等の松くい虫対策を継 続的に実施							

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式(主体別)【国土交通省】※令和4年度取組状況(中間報告)

		である。							計画ス	ケジューノ	(年度	・予定)	
大項目	項目	今後の具体的取組み	個別施策	目標	2022年度取組	2021 (R3)					2026 (R8)		2029 2030 (R11) (R12)
将来像3:心豊かで健康						ı	-	:	-			-	
スポーツ・レクリエーションの場としての機能充実	連動	●既に市民の多様なスポーツの場として親しまれている雁の巣レクリエーションセンターの区域を、福岡市が管理する現行の形を基本として国営公園として供用するとともに、他の公園区域との連携を強化する●園内の園路の改修等により、サイクリング専用コースやジョギングコースなどの運動ができるコースの設定を行う。		●雁の巣レクリエーションセンターと他の区域 との連携方策、整備内容や運営方法等の調整	福岡市と継続的に情報共有を進める予定								
健康増進、ストレス解消に	健康増進		健康づくりのためのサイクリング専用コースの	●2023年度(R5年度)までにサイクリングコース	・サイクリングコーフの改修に向けた設計								
繋がる場としての機能充実	庄/水·日/正	プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを実きせる。 ●志賀島-海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。		を再編・改修して専用コースを整備	を実施中 ・専用コースの整備や駐輪場、わかりやすい路面標示を継続的に実施中								
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		・各機関と連携し、感染症対策の徹底を図る ・海の中道駅口のリニューアルにあわせた 花修景の強化と飲食物販施設の設置に向け た整備を推進								
将来像4:多様な人の多様	様な学び、	活躍を支える公園					<u> </u>		<u> </u>	1		<u> </u>	
学びの場			した企業研修の場としての公園利用の推進	●2021、2022年度(R3、4年度)に公園を活用 した企業研修のメニュー(案)の作成、実現性 の検討、試行を実施。									
ユニバーサルデザインの考えに基づく整備・管理運営		サ ●ユニバーサルデザインによる園路や施設 の整備、改修、本公園の災害時の避難場所 としての機能を高めるための施設の耐震化 を推進する。 ●障がいの有無にかかわらず、公園の楽し さを享受できるプログラムや施設の充実を 図る。		●施設更新にあわせた園路、トイレ等のユニ バーサルデザイン化、耐震化の推進、充実	・園路等の改修を実施中 ・トイレのユニバーサルデザイン化を推進 ・サインのユニバーサルデザイン化を推進 中								
	園内移動	行った上で、サイクリングコースやバス ルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の 整備など必要な対策を実施する。		● 2021年度(R3年度):全体計画の整理 ● 2022年度(R4年度)以降:優先順位に応じて順次改修 ● 2024~2025年度(R6~R7年度)に園内のレストハウス等を集約再編し、新たな交通・休憩の拠点を整備	施設の集約再編、園内交通の見直しに向け	•							